

ナショナルトレーニングセンターの周辺の  
バリアフリー化に関する当面の整備方針

ナショナルトレーニングセンターの周辺の  
バリアフリー化促進に関する関係省庁等連絡会議

平成 31 年 3 月 28 日

本文中で記載するほか、施設名称を含む固有名詞については、以下の略語を用いることとする。

ユニバーサルデザイン 2020 行動計画	ユニバーサルデザイン 2020 行動計画(平成 29 年 2 月 20 日ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定)
拡充棟	現在建設中のナショナルトレーニングセンター拡充棟 (仮称)
日本パラリンピアンズ協会	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会
日本パラリンピック委員会	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
JSC	独立行政法人日本スポーツ振興センター
国際興業	国際興業株式会社
JR 東日本	東日本旅客鉄道株式会社
2020 年東京大会	2020 年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会
2020 年東京パラリンピック	2020 年東京パラリンピック競技大会
屋内トレーニングセンター	ナショナルトレーニングセンター屋内トレーニングセンター
陸上トレーニング場	ナショナルトレーニングセンター陸上トレーニング場
屋内テニスコート	ナショナルトレーニングセンター屋内テニスコート
本会議	ナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリー化促進に関する関係省庁等連絡会議
WG	ナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリー化促進に関する関係省庁等連絡会議ワーキンググループ
板橋本町駅	都営地下鉄三田線板橋本町駅
本蓮沼駅	都営地下鉄三田線本蓮沼駅
赤羽駅	JR 赤羽駅

## 1. はじめに

2020年東京大会に向け、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、競技会場や周辺エリア・交通ターミナルをはじめ、各地でバリアフリー化が推進されている。こうした中、東京都北区西が丘地区に所在するハイパフォーマンスセンター（以下「HPC」という。）<sup>1</sup>については、オリンピック競技とパラリンピック競技の更なる共同利用化に向け、現在、拡充棟を整備しているところであり、2019年6月末の完成後、速やかに供用が開始される予定となっている。このため、拡充棟の供用開始に向け、パラアスリート等が安心して利用できるよう、周辺のバリアフリー化の加速が求められている。

本整備方針は、全国各地からパラアスリート等が集まる拡充棟の供用開始に向けて、また、その後も東京大会のレガシーとして、交通バリアフリー環境の改善を積極的に進めるべく、全国のモデルとなるよう関係省庁等が連携して取りまとめたものである。

取りまとめに当たっては、今回の検討の契機となった日本パラリンピアンズ協会「ハイパフォーマンスセンター周辺アクセシビリティ調査報告書」（以下「報告書」という。）を基に、公共交通機関を利用して拡充棟に向かう経路等について、本会議の下に設置したWG構成員である日本パラリンピック委員会、日本パラリンピアンズ協会のパラリンピアンに加え、北区及び板橋区の地元の障害者並びに有識者の参画も得て、報告書の指摘箇所はもとより、それ以外にも利用が想定される箇所を含め<sup>2</sup>、改めて関係者が合同での実地点検を実施し、問題点等を把握した。その上で、事務局であるスポーツ庁及びJSCを中心にWGの各構成機関において検討を行い、最終的にWGとして、バリアフリー化を段階的・継続的に進めるべきアクセシブルルート<sup>3</sup>を設定し、当面、各施設管理者等がアクセシブルルートにおいて取り組む事項について、本整備方針として取りまとめた。

---

<sup>1</sup> ナショナルトレーニングセンター及び国立スポーツ科学センターにあるスポーツ医・科学研究、スポーツ医・科学、情報サポート、トレーニング場等の機能を一体的に捉えて、平成28年4月にJSCに設置された。

<sup>2</sup> WGにおける実地点検では、パラリンピアンズ協会の調査が及んでいない3駅の改札内、赤羽駅タクシー乗り場、赤羽商業高校前停留所及び陸上トレーニング場への経路等についても対象とした。

<sup>3</sup> 本整備方針におけるアクセシブルルートとは、拡充棟及びHPC内の各施設へのアクセスルートとなる経路のうち、拡充棟を含むHPCにスムーズにアクセスし、利用可能となるよう配慮が

## 2. アクセシブルルートの設定

拡充棟へのアクセスにおいて利用が想定される鉄道路線としては、都営地下鉄三田線と JR 線の 2 路線があり、これらの路線の最寄り駅となる板橋本町駅、本蓮沼駅、赤羽駅からパラアスリートが拡充棟に向かうための安全に移動できるルートを確認することが必要である。なお、赤羽駅については、同駅からバス又はタクシーを利用して向かうことが想定される。

また、ナショナルトレーニングセンター（以下「NTC」という。）及び国立スポーツ科学センター（以下「JISS」という。）については、現在もオリンピック競技とパラリンピック競技のアスリート等が共同で利用する施設であるが、拡充棟の整備後は特にパラアスリートの利用が大幅に増加することが見込まれるため、隣接する屋内トレーニングセンター、陸上トレーニング場、屋内テニスコート、アスリートヴィレッジ及び JISS との往来も当然に想定される。

こうしたことを踏まえ、図 1 及び図 2 のとおり、公共交通機関を利用した拡充棟へのアクセスや HPC の各施設間を移動する際に利用が想定される経路をアクセシブルルートとして設定する。

## 3. アクセシブルルートにおける当面の整備方針

以下ではアクセシブルルートにおける当面の整備方針について、基本的な考え方（下記（1））を示した上で、便宜的に各駅から拡充棟へ向かう経路ごとに整備内容を示す（下記（2）～（6））。

---

必要な者の動線としてバリアフリー化を段階的・継続的に進めるべき箇所を設定したものである。2020 東京大会の会場について定めた「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」（2017 年 3 月 24 日公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）のアクセシブルルートとは別のものである。



図 1 アクセシブルルート（西が丘周辺）



図 2 アクセシブルルート（赤羽駅周辺）  
※エレベーターは南改札内のみ

## （１）基本的な考え方

### ア ハード整備における基本的な考え方

上記 2 において設定したアクセシブルルートについては、各施設管理者において、各種ガイドライン等や、沿道の状況及び周辺の商店街や住民の意向等の個別の事情も踏まえ、バリアフリー化を段階的かつ継続的に進めることとする。以下では、当面の基本的な整備方針を記載するが、実際のアクセシブルルートの整備に向けては、実地点検での指摘（別紙参照）も踏まえ、各施設管理者において更に具体的に検討を行うとともに、JSC や関係する施設管理者と連携する。また、周辺の商店街や住民等と必要な調整を図るものとする。

各駅を始めとする案内表示等について、JSC は施設名の表記の統一性を高め、利用者等にわかりやすいものとなるよう、各施設管理者と連携を図り改善に努めるとともに、板橋本町駅出入口など案内表示の設置についても検討する。

## イ ソフト施策との連携

アクセシブルルートを安全なアクセス経路として確立するためには、ハード整備と併せて情報発信等のソフト施策との連携が必要である。

このため、JSCにおいては、パラアスリート等が拡充棟をはじめとするHPCの各施設を利用する際に、アクセシブルルートの整備状況に応じた推奨経路に関する情報が適切に周知されるよう、ウェブサイト等による情報発信を行う。なお、情報発信にあたっては、その情報へのアクセシビリティについても十分留意する。

また、いわゆる「心のバリアフリー」<sup>4</sup>についても推進する必要がある。例えば、拡充棟に設けられる見学コースの活用やパラリンピアンを始めとするアスリートとの交流等を通じて、地域の方々の理解を得て積極的な協力が得られるように取り組む。また、拡充棟の整備により、多くのパラアスリートが西が丘地区を訪れることに加え、放置自転車、違法駐車、歩道上の立て看板等歩道を塞ぐ行為がパラアスリート等の通行の妨げになること等について、JSC、北区及び板橋区が互いに連携し、周知を図る。

加えて、警視庁においては、歩道の安全性を高める観点から、自転車の歩道通行の一因となる自転車専用通行帯の駐車車両への指導・取り締まりの強化を図る。

## ウ 継続的なスパイラルアップの取組

本整備方針は、当面の基本的な整備方針を定めたものであるが、アクセシブルルートのバリアフリー化については、今回の実地点検の結果等を参考としつつ、段階的かつ継続的に発展させていくこと（スパイラルアップ）が重要である。今回の実地点検の結果等により確認された課題のうち当面の整備方針に盛り込まれていない項目については、構造体の抜本的な見直し、地域との丁寧な調整などを要することから、当面の整備方針に盛り込むことを見送ったものであるが、今後も継続的に関係者で検討していくべきである。

---

<sup>4</sup> ユニバーサルデザイン 2020 行動計画（平成 29 年 2 月ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）では、様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこととされている。

このため、JSC、北区及び板橋区においては、定期的に協議の場を設け、必要に応じて報告書をまとめた日本パラリンピアンズ協会をはじめ、WG参加機関の協力を得ながら、拡充棟整備後のパラアスリート等の利用状況や周辺住民の意向等も踏まえながら、スパイラルアップを図る<sup>5</sup>。その際、上記イの心のバリアフリーを推進する観点も含め、検討する。

## (2) 共通する箇所



### ア 拡充棟前 (特別区道北 1920 号)

- 2019 年 6 月末までに、拡充棟敷地の北側に公開空地を設け、現状の北区道と併せて拡充棟入り口まで十分な幅員を確保する。また、国立スポーツ科学センター前交差点から拡充棟入り口まで連続した形になるよう、公開空地上に視覚障害者誘導用ブロック (以下「誘導用ブロック」という。) を設置する。【文部科学省】
- 2019 年 6 月末を目標に、街路樹の一部伐採及び歩道の路面改修を行う。【北区】

### イ 国立スポーツ科学センター前交差点

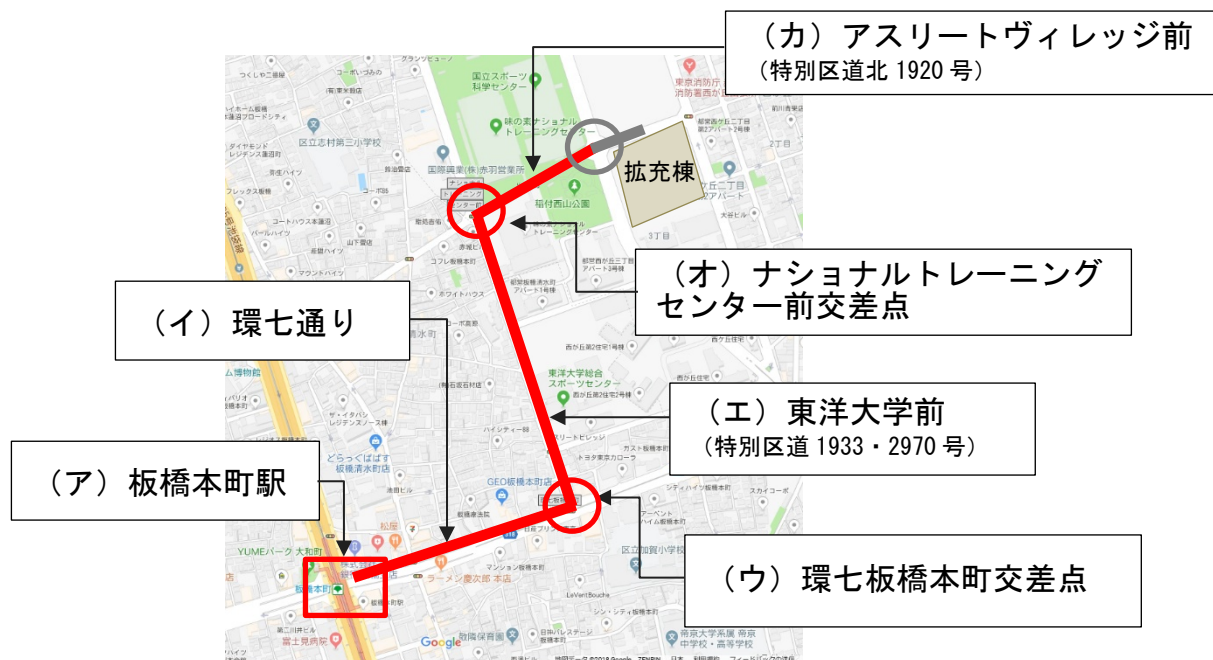
- 2019 年 6 月末を目標に、音響式信号機の設置及び横断秒数の見直しを行うとともに、エスコートゾーンを設置する。【警視庁】

<sup>5</sup> 移動等円滑化の促進に関する基本方針 (平成 23 年国家公安委員会・総務省・国土交通省告示第 1 号) では、スパイラルアップに関して、市町村は、移動等円滑化促進方針や基本構想が作成された後も、おおむね五年ごとに、評価を行い、それに基づき、必要があると認めるときは、見直し等を行うことが重要とされている。



### (3) 板橋本町駅から拡充棟へのアクセス

#### ア 東洋大学前ルート



#### (ア) 板橋本町駅

- 2019年6月末を目標に、エレベーターの各地上出入口に、反対方面ホーム行きのエレベーターの案内を表示するなど、駅構内におけるエレベーターの設置状況及びHPC方面出口に関する案内表示等の改善を図る。【東京都交通局】
- 2019年6月末を目標に、駅出口におけるHPCへの経路に関する案内表示の設置に向けて関係者と調整を図る。【JSC】
- 2019年6月末を目標に、駅の出入口に面する歩道について、駅の出入口が視覚障害者にとってもわかりやすいものとなるよう、誘導用ブロックの整備を行う。【東京都建設局】
- 駅の出入口の位置を知らせる音響案内装置の設置について、パラアスリート等の利用状況、駅の立地特性及び周辺状況を踏まえて検討する。【東京都交通局】
- 駅構内におけるエレベーターの設置状況や、HPC方面最寄りの出入口等に関する情報について、視覚障害者が円滑に利用できるよう、ウェブサイト等において周知する。【JSC】

- 利用者も対象とした「声かけ・サポート運動」など心のバリアフリーの啓発活動に取り組むとともに、バリアフリー対応における接遇及び介助技術の習得・向上に継続的に取り組む。【東京都交通局】

**(イ) 環七通り（都道 318 号）**

- 2019 年 6 月末を目標に、誘導用ブロックの連続的な設置及び段差の解消を実施するとともに、ボラード（車止めポール）の撤去について周辺住民と調整する。【東京都建設局】
- 2019 年 6 月末を目標に、一定の幅員以上の道路を横断する箇所には、横断歩道を設置する。また、エスコートゾーンの設置については、パラアスリート等の利用状況や周辺住民の意向等も踏まえ、検討する。【警視庁】

**(ウ) 環七板橋本町交差点**

- 北側歩道への音響式信号機の設置について、現地の地下埋設物の状況を踏まえ、検討する。【警視庁】

**(エ) 東洋大学前（特別区道 1933・2970 号）**

- 2019 年 6 月末を目標に、歩道路面における老朽化の激しい箇所等の改修、誘導用ブロックの連続的な設置及び段差の解消を実施する。【板橋区】
- 2019 年 6 月末を目標に、一定の幅員以上の道路を横断する箇所には、横断歩道を設置する。【警視庁】

**(オ) ナショナルトレーニングセンター前交差点**

- 2019 年 6 月末を目標に、音響式信号機及び歩行者用灯器の設置並びに横断秒数の見直しを行う。【警視庁】
- 交差点の形状の見直し（コンパクト化）について、横断時間の短縮等の観点から、下記（4）ア（エ）の特別区道の整備と併せて検討する。【警視庁、北区】

**(カ) アスリートヴィレッジ前（特別区道北 1920 号）**

- 2019 年 6 月末を目標に、歩道の路面改修、誘導用ブロックの連続的な設置、段差の解消及び街路樹の一部伐採を実施する。【北区】

## イ 清水町ルート



### (ア) 国道 17号

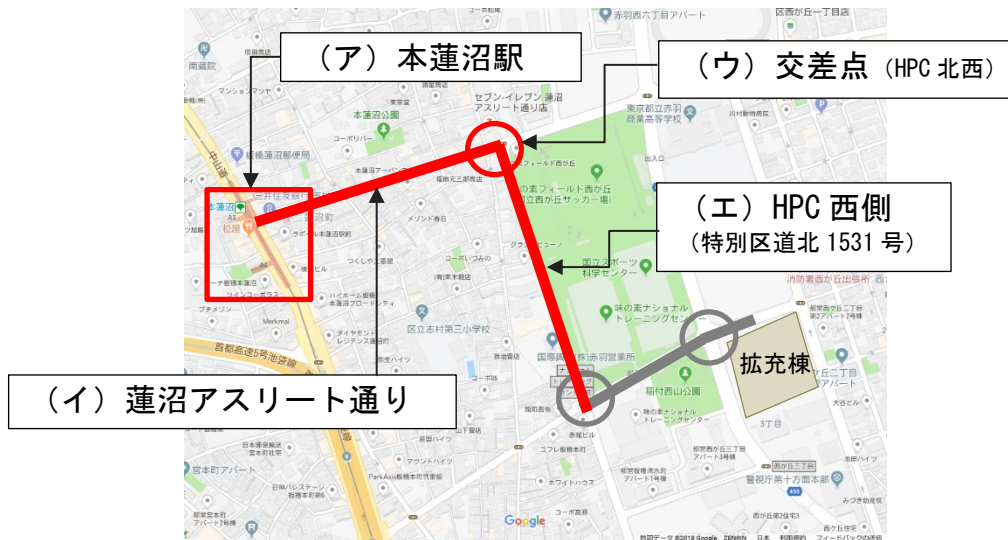
- 2019年6月末を目標に、誘導用ブロックの老朽化やマンホール等により誘導用ブロックが途切れている箇所等について、必要かつ適切な修繕を実施する。【国土交通省関東地方整備局】

### (イ) 特別区道 1934号

- 今年度中に、歩道の路面改修、誘導用ブロックの連続的な設置及び段差の解消を実施する。【板橋区】
- 2019年6月末を目標に、一定の幅員以上の道路を横断する箇所には、横断歩道を設置する。【警視庁】

#### (4) 本蓮沼駅から拡充棟へのアクセス

##### ア HPC 西側ルート



##### (ア) 本蓮沼駅

- 2019年6月末を目標に、駅改札付近に設置している触知案内板の音声について、適切な音量となるよう速やかに調整を行う。【東京都交通局】
- 駅の出入口の位置を知らせる音響案内装置の設置について、パラアスリート等の利用状況、駅の立地特性及び周辺状況を踏まえて検討する。【東京都交通局】
- 駅構内におけるエレベーターの設置状況や、HPC方面最寄りの出入口等に関する情報について、視覚障害者が円滑に利用できるよう、ウェブサイト等において周知する。【JSC】
- 利用者も対象とした「声かけ・サポート運動」など心のバリアフリーの啓発活動に取り組むとともに、バリアフリー対応における接遇及び介助技術の習得・向上に継続的に取り組む。【東京都交通局】

##### (イ) 蓮沼アスリート通り（特別区道2124号）

- 2019年6月末を目標に、誘導用ブロックの連続的な設置を実施する。【板橋区】
- 2019年6月末を目標に、一定の幅員以上の道路を横断する箇所には、横断歩道を設置する。【警視庁】

##### (ウ) 交差点（HPC北西）

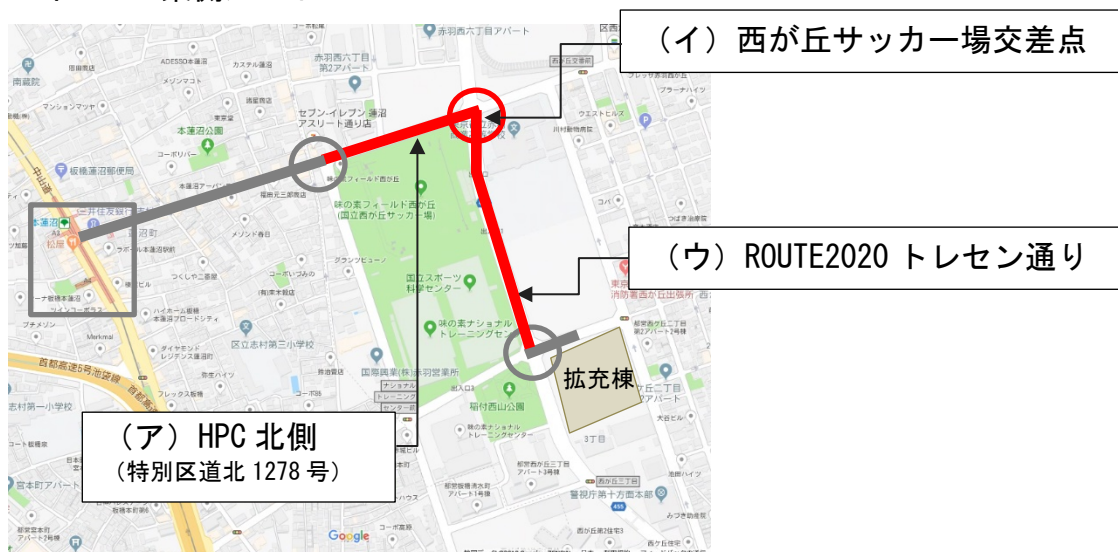
- 音響式信号機の設置等の安全性向上に向けた方策について、パラアスリート等の利用状況及び周辺住民の意向も踏まえて検討する。

【警視庁、北区、板橋区】

#### (エ) HPC 西側（特別区道北 1531 号）

- HPC 西側の歩道については、街路樹、ボラード（車止めポール）、照明柱のほか、木の根による路面の凹凸など、バリアフリー化の観点における障害が多く存在していることから、具体的な対応策について、パラアスリート等の利用状況も踏まえて検討する。【北区】
- HPC 西側歩道と HPC 敷地との段差について、今年度中に、安全対策を講じる。【JSC】
- 2019 年 6 月末を目標に、一定の幅員以上の道路を横断する箇所には、横断歩道を設置する。【警視庁】

#### イ HPC 東側ルート



#### (ア) HPC 北側（特別区道北 1278 号）

- 2019 年 6 月末を目標に、歩道の路面改修、誘導用ブロックの連続的な設置及び段差の解消を実施する。【北区】

#### (イ) 西が丘サッカー場交差点

- 今年度中に、点灯時間の見直しを行うとともに、2019 年 6 月末を目標に音響式信号機及びエスコートゾーンを設置する。【警視庁】

#### (ウ) ROUTE2020 トレセン通り (都道 455 号)

- 歩道の誘導用ブロックについて、上記 (2) ア、(3) ア (カ) 及び (4) イ (ア) 並びに下記 (6) ア及びウの整備に伴い、接続に関する調整を行う。【東京都建設局】

#### (5) 赤羽駅から拡充棟へのアクセス

##### ア 赤羽駅

- 2019 年 6 月末を目標に、エレベーターや HPC 方面出口等に関する案内表示の充実を図る【JR 東日本】
- 2019 年度中に、南口トイレについて、「公共交通機関の移動等円滑化整備ガイドライン (旅客施設編・車両等編)」に準拠した改修に着手する。【JR 東日本】
- 駅構内におけるエレベーターの設置状況や、HPC 方面改札口等に関する情報について、視覚障害者が円滑に利用できるよう、ウェブサイト等において周知する。【JSC】
- 各改札の利用者の状況に応じた案内方法の改善に継続的に取り組む (北口における案内、EV 利用者の南口への案内・誘導など)。【JR 東日本】
- 利用者も対象とした「声かけ・サポート運動」など心のバリアフリーの啓発活動に取り組むとともに、サービス介助士の資格取得や社内外の研修等を通じて駅係員の接遇及び介助技術の習得・向上に継続的に取り組む。【JR 東日本】

##### イ 赤羽駅西口広場

- 2019 年 6 月末を目標に、バス乗り場に向かう横断歩道部の勾配の改善及び植樹ますの段差の解消を図る。ボラードについては、視覚障害者等が安全に通行できるよう改善を検討する。【東京都建設局】
- 2019 年 6 月末を目標に、赤羽駅内の案内標記との統一性に留意しつつ HPC 方面バス乗り場に関する案内表示の充実を図る。【国際興業】
- 2019 年 6 月末を目標に、バス乗り場での車いす使用者の待機位置を表示する。【国際興業】
- HPC 方面バス乗り場に関する情報について、視覚障害者が円滑に乗車できるよう、ウェブサイトにおいて周知する。【JSC】

- バス到着時の運転手による音声での案内を実施するとともに、周りのバス利用者からのサポートが得られるよう、啓発活動に取り組む。

【国際興業】

#### ウ バス・タクシー

- 外部の交通事業者向け研修等も活用しつつ、バリアフリー対応における接遇及び介助技術（正着<sup>6</sup>及びニーリング<sup>7</sup>の徹底を含む）の習得・向上に継続的に取り組む。【国際興業、各タクシー事業者<sup>8</sup>】
- 2019年6月末を目標に、HPC利用者が西が丘競技場バス停で下車できるよう、バス車内の音声案内を更新する。【国際興業】
- HPCの施設毎に推奨される最寄りバス停に関する情報について、ウェブサイト等において周知する。【JSC】

#### エ 赤羽商業高校前バス停（赤羽駅行き）

- 車いす使用者が円滑にバスに乗車できるよう、歩道の改修を行う（平成30年12月実施済み）。【北区】

### （6）HPCの各施設間におけるアクセス

#### ア NTC及びJISSへの経路

- 2019年6月末を目標に、パラアスリート等がHPCの正門を経由することなくJISSと2020トレセン通りとを行き来できるよう、通用門及び歩道を整備する。通用門の整備に併せて2020トレセン通りと視覚障害者誘導用ブロックを接続する。【JSC】
- 2019年6月末を目標に、HPC内の横断歩道にエスコートゾーンを設置する。また、陸上トレーニング場内の通路について、誘導用ブロックを設置する。【JSC】
- HPC内の歩道について、マンホール部分の段差解消をする（平成30年11月実施済み）。【JSC】

---

<sup>6</sup> バス車両を歩道の縁石付近まで寄せて停車させること。

<sup>7</sup> バス車両が停車時に乗客が円滑に乗り降りできるようにするために行う車高調整。

<sup>8</sup> 平成30年11月に国土交通省より通達（「ユニバーサルデザインタクシーによる運送の適切な実施について」）が発出され、タクシー事業者はユニバーサルデザインタクシーに係る各種研修の実施など、運送の適切な実施に向けた取組を進めることとされている。

- 2019年6月末を目標に、HPC正門と2020トレセン通りの誘導用ブロックを接続する。【JSC】
- イ HPC正門前信号機及び横断歩道
  - 2019年6月末を目標に、音響式信号機の設置及び点灯時間の見直しを行うとともに、エスコートゾーンを設置する。【警視庁】
- ウ 拡充棟から陸上トレーニング場までの経路
  - 今年度中に、西が丘サッカー場交差点から陸上トレーニング場までの経路について、誘導用ブロックを設置する。【JSC】

#### 4 おわりに

北区及び板橋区においては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律<sup>9</sup>等に基づき、基本構想の策定やバリアフリー化事業の実施などが進められてきた。

一方で、拡充棟の整備に伴う周辺のバリアフリー化については、関係者の一部において、個別の検討が行われていたものの、その検討状況等が関係者間で十分に情報共有がなされておらず、加えて、拡充棟の最寄り駅は、北区と板橋区の異なる地域に複数存在することから、地方公共団体や交通事業者等、多くの関係者の参画によって多面的に整備計画を策定する必要があったが、そうした観点からの検討は必ずしも十分でなかった。

このことから、今般、関係者が一堂に会する枠組みとして本会議を設け、各施設管理者が関係する箇所を相互に確認し、検討を進めることができたことは極めて有効であった。

しかしながら、本整備方針の取りまとめは一つの到達点ではあるが、ゴールではない。この地域が全国のモデルとなるよう、本整備方針に基づき、各施設管理者において着実に整備が進められることはもちろん、拡充棟の供用開始後の状況や利用するパラアスリートの声等を踏まえながら、今回の整備方針に盛り込まれた事項及び継続的な課題の双方について、スパイラルアップを通じて、関係者それぞれができることに継続的に取り組んでいくことが何よりも重要である。

また、2020年東京パラリンピックを契機に、障害の有無にかかわらず、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会の実現に向けて策定された「ユニバーサルデ

---

<sup>9</sup> 平成18年法律第91号



ザイン 2020 行動計画」の実行において、今回の取組がモデルケースの1つとして、全国各地のバリアフリー化の推進に活用されることが期待される。